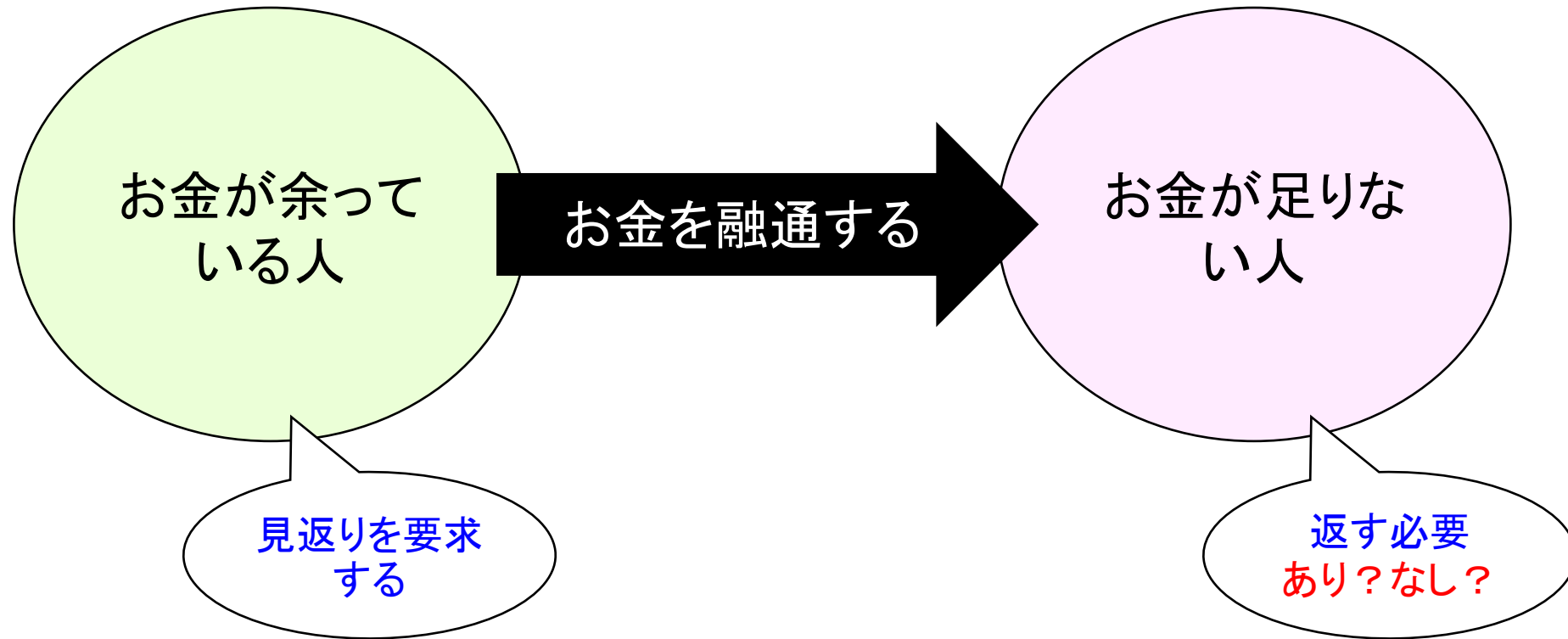
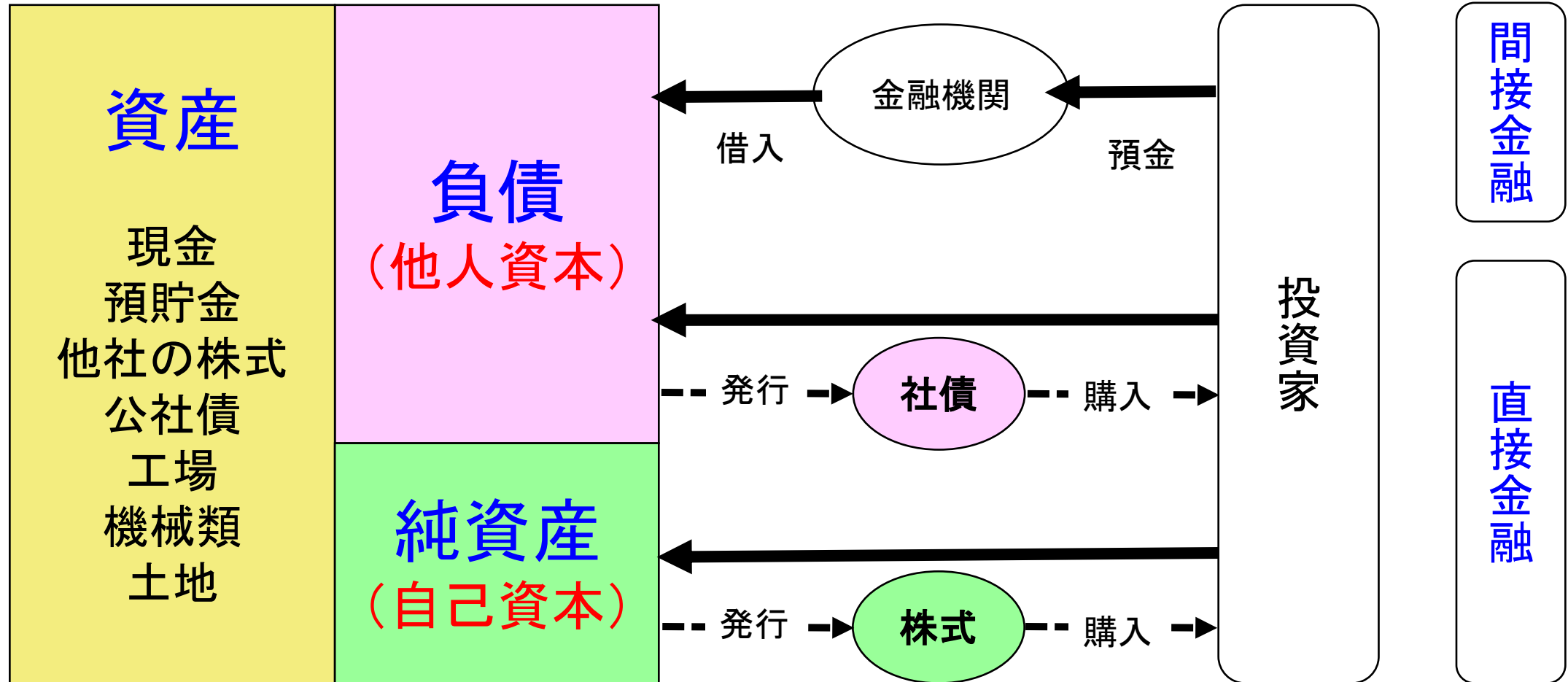


金融とは？（世の中には2種類の人がいる）



直接金融と間接金融



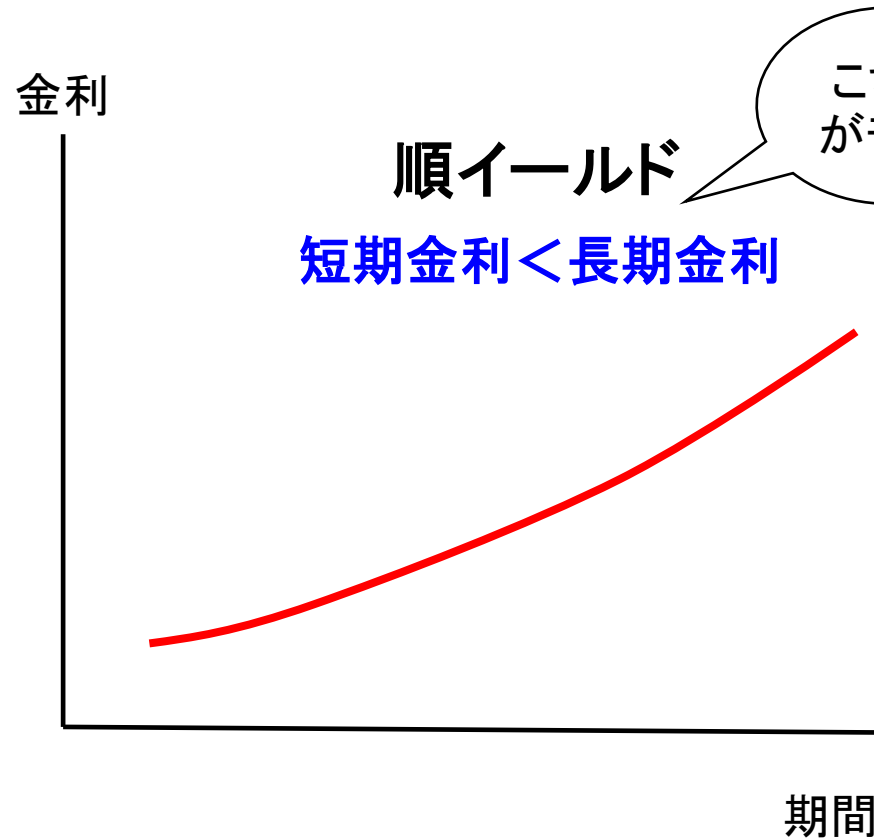
金利とは？

- お金の貸し借り、預け入れなどで発生する利息の割合のこと
- 金利の変動は経済活動に大きな影響を及ぼす。
- 注目すべきは、**短期金利**と**長期金利**（ニュースなどでよく聞く）
（日本の場合）

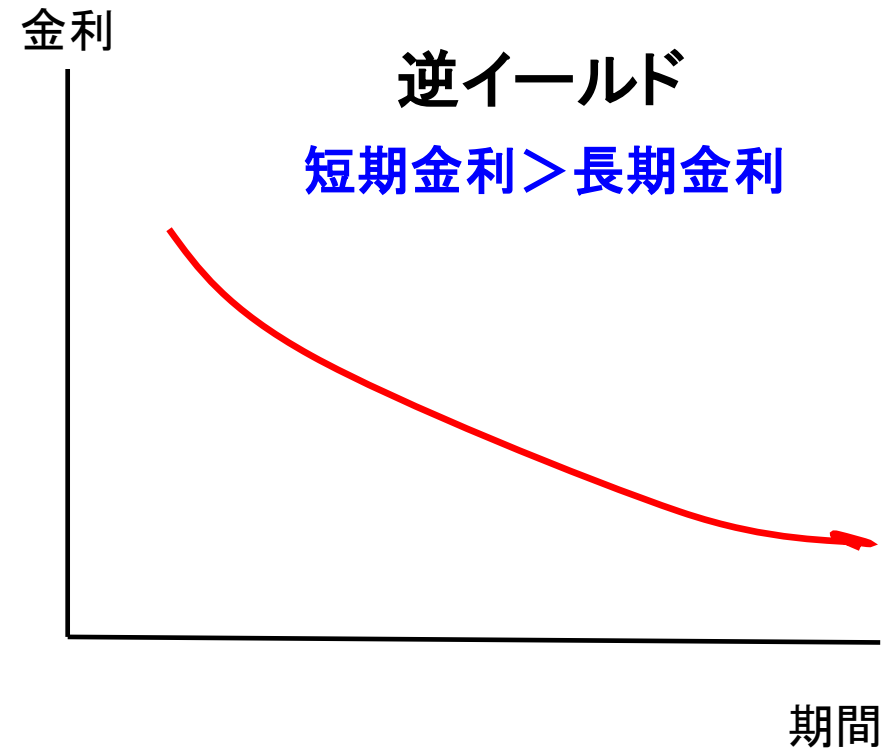
無担保コール翌日物（レート）は日本銀行の政策金利（**短期金利**）

新発国債10年物利回り（**長期金利**）

短期金利と長期金利の関係



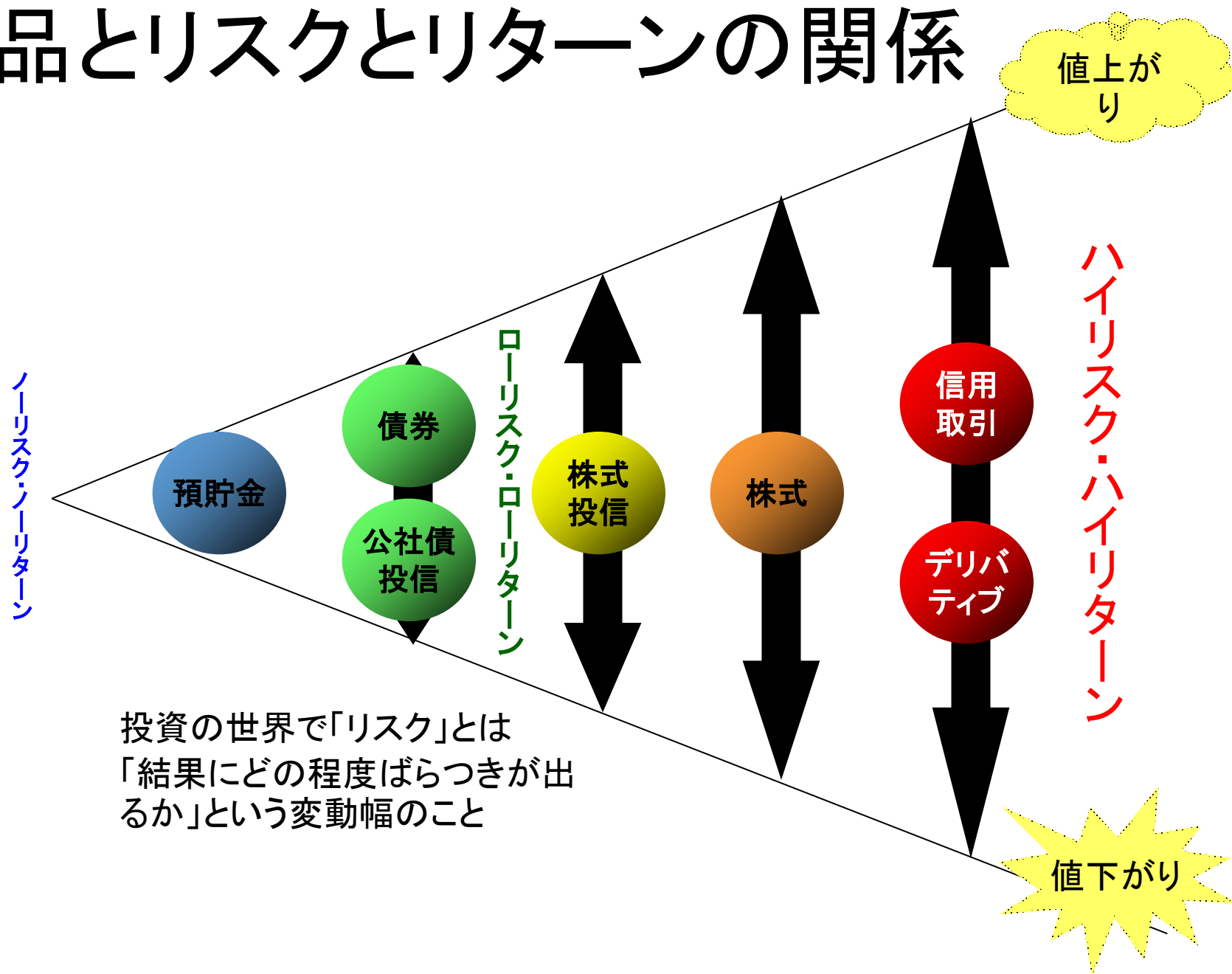
こちら
が普通



まずは「**経済の常識**」を理解しよう！

- 景気は大なり小なり循環するものである。
- 市場（株価）は常に景気を先読みする。
- お金は金利の低いところから高いところに流れる。
- 株価と債券価格は概ね反対の値動きをする。
- 債券価格と利回り（金利）は反対の値動きをする。
- 金利が上がれば株価は下がる。
- インフレは好景気、デフレは不景気のときに起こる。
- インフレはその国の通貨安を引き起こす。
- 長期金利が上がると困る人が結構いる。
- 長期金利とは新発10年物長期国債の利回りのことである。

金融商品とリスクとリターンの関係



銀行等の貯蓄型金融商品について

- 固定金利と変動金利

金利上昇局面・・・変動金利型が有利

金利下降局面・・・固定金利型が有利

住宅ローンとは逆

金利上昇局面・・・固定が有利
金利下降局面・・・変動が有利

変動金利・・・購入者がリスクを負う(自己責任)
固定金利・・・金融機関がリスクを負う

- 単利と複利

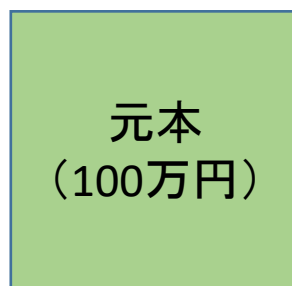
同じ利率の場合、元利合計額の増え方は 複利 > 単利

また利子が支払われる期間で比べると(複利の場合)

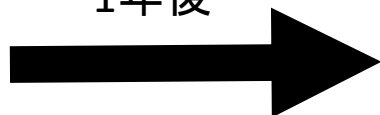
1ヵ月複利 > 半年複利 > 1年複利

利率と利回りの違い

銀行の
預貯金など
比べるとき



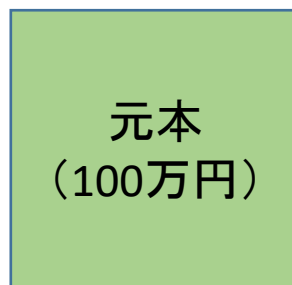
1年後



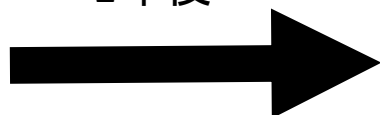
インカム
ゲイン

利率(年利) 5%

債券(国債、
社債)など
比べるとき



1年後



インカム
ゲイン

キャピタル
ゲイン

利回り 7%

市場の鉄則(1)債券価格と利回り(金利)は 反対の値動きをする

市場金利が上昇すると・・・
(例) 1.0% → 2.0%



国債を売却したいけど、もっと利回りを上昇させないと売れないよな

利回り 1.5% の国債
(償還まで8年) 保有

国債の
価格を低くして
売る

市場金利が低下すると・・・
(例) 2.0% → 1.0%

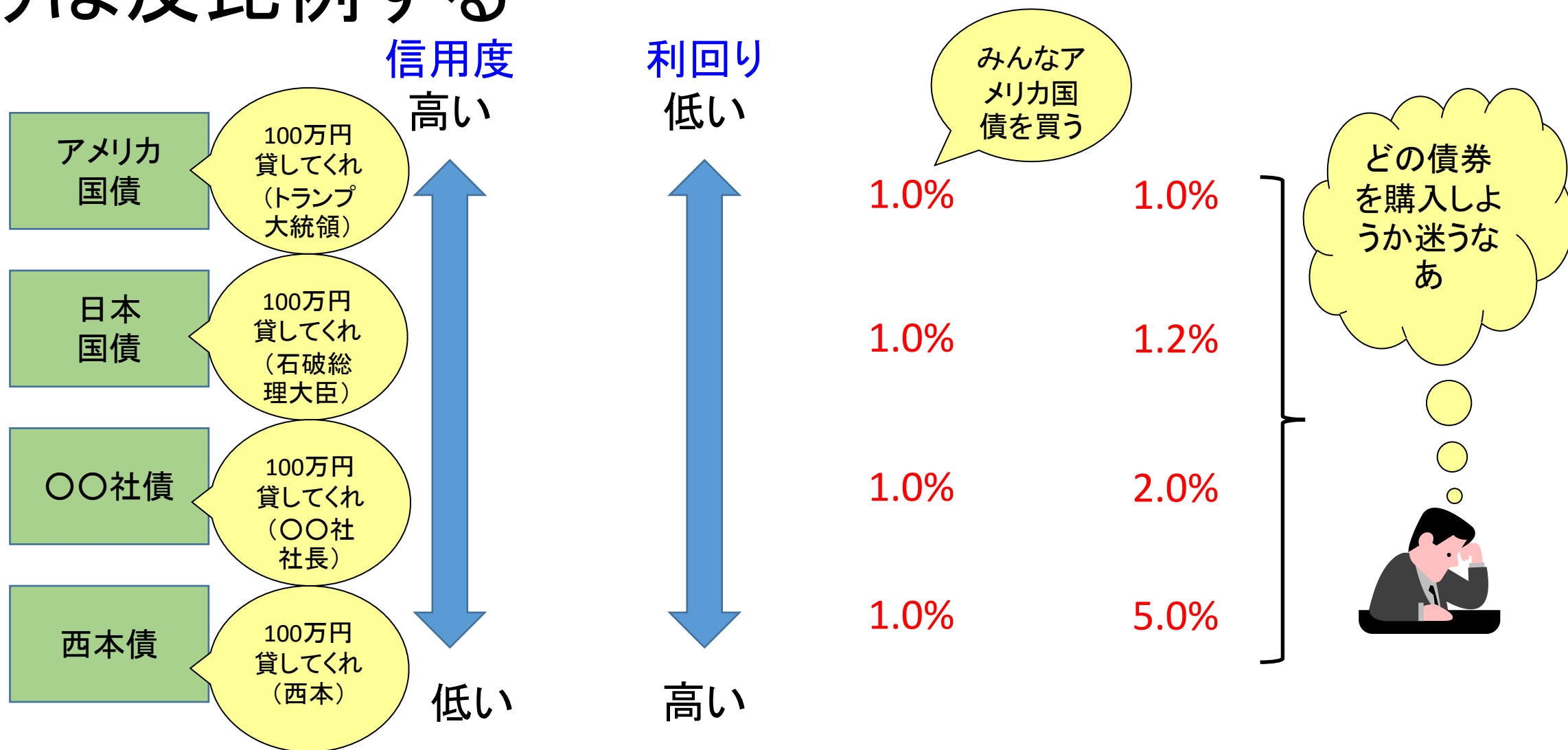


国債を売却したいけど、もっと利回りを低下させても売れそうだな

利回り 1.5% の国債
(償還まで8年) 保有

国債の
価格を高くして
売る

市場の鉄則(2) 債券発行体の信用度と利回りは反比例する



市場の鉄則(3)金利が上がれば株価は下がる

金利上昇

サプライズ

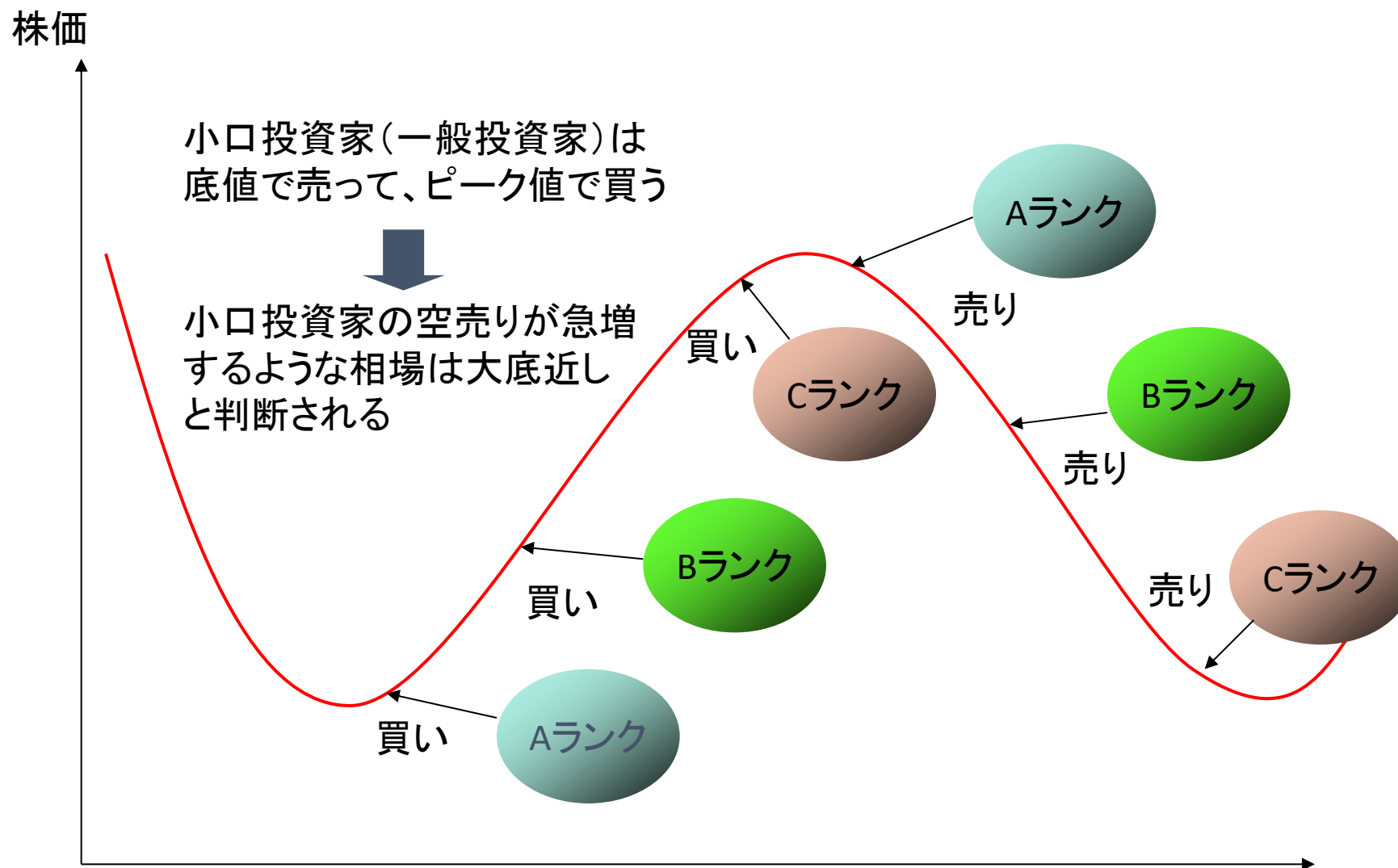
企業: 資金繰りが苦しくなる(企業業績の悪化)
個人: お金が借りにくなる(個人消費の低迷)

景気後退



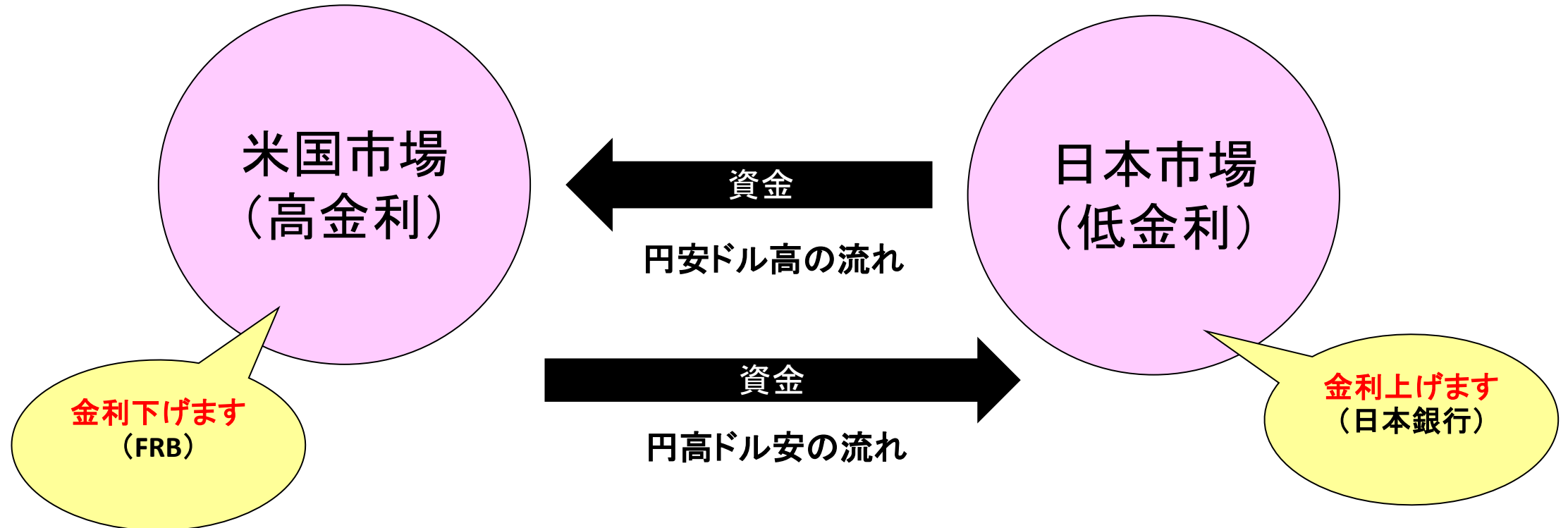
今のうちに株を
売ってしまおう。
株価が暴落し
て手遅れにな
らないうちに

株価は不景気るとき上がり始め、好景気るとき下がり始める



市場の鉄則(4)金利が上がれば円高になる

お金は金利(利回り)のより高いところへと流れる



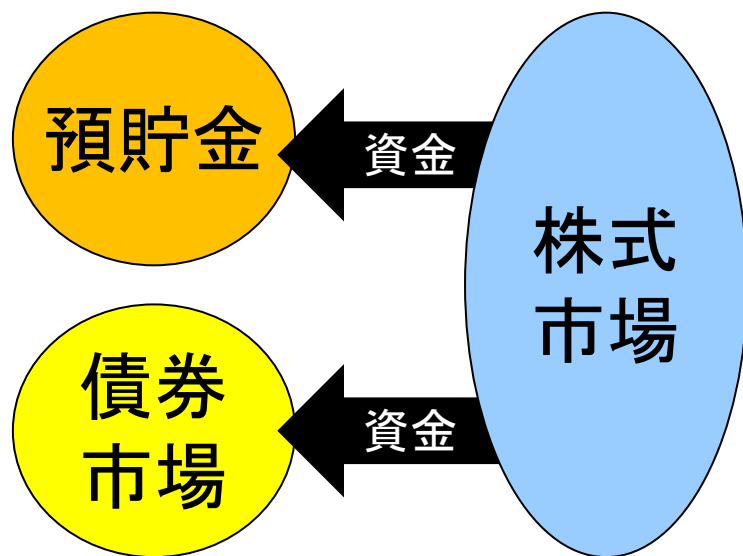
預貯金・債券・株式間の資金移動

金利上昇 → 高金利局面

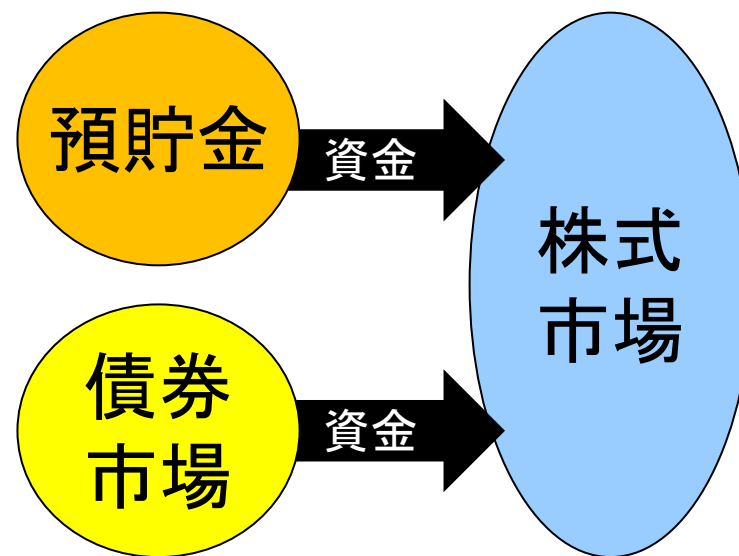
今後の日本
はこちらが
予想される

金利低下 → 低金利局面

これまでの
日本はこちら
だった



リスクを回避して安全な
預貯金や債券に資金移動



利回りの低い預貯金や債
券よりも株式市場が魅力的

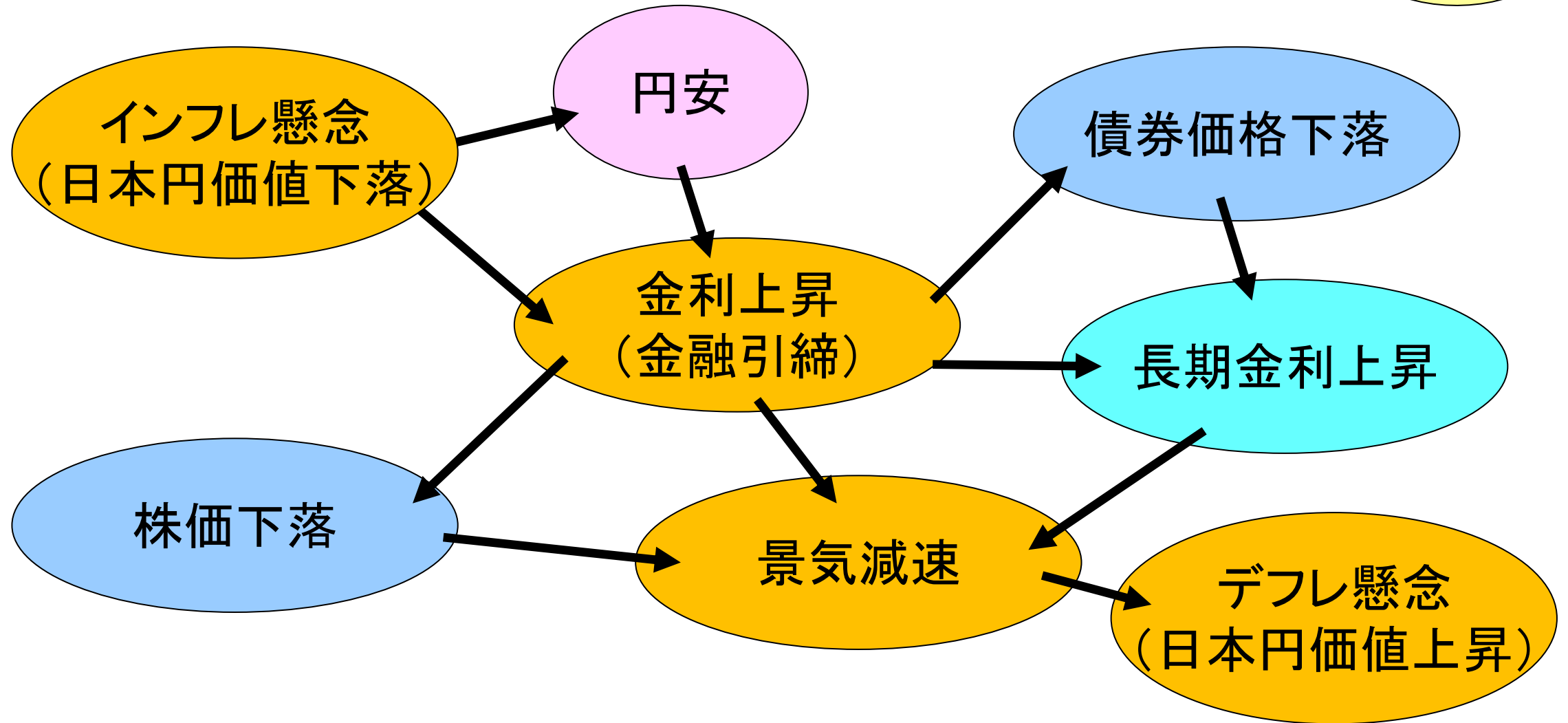
日本銀行の金融政策

日本は過去30年間
こっちだけ

	不景気するとき	好景気するとき
政策金利 (無担保コール 翌日物)	下げる (お金を借りやすくする)	上げる (お金を借りにくくする)
公開市場操作 (国債の売買)	買いオペレーション (国債を買って市場にお金を出す)	売りオペレーション (国債を売って市場からお金を吸い上げる)
マネーストック (市場で使えるお金)	(使えるお金の量が)増える (金融緩和)	(使えるお金の量が)減る (金融引締)
預貯金・債券・株	預貯金や債券の魅力が減退し 株式投資に人気が集まる	リスクの高い株式投資を避け 比較的安全な預貯金や債券が人気になる
結果	経済活動が活発になり、株価が上がる	経済活動の過熱を防ぎ、物価が安定する

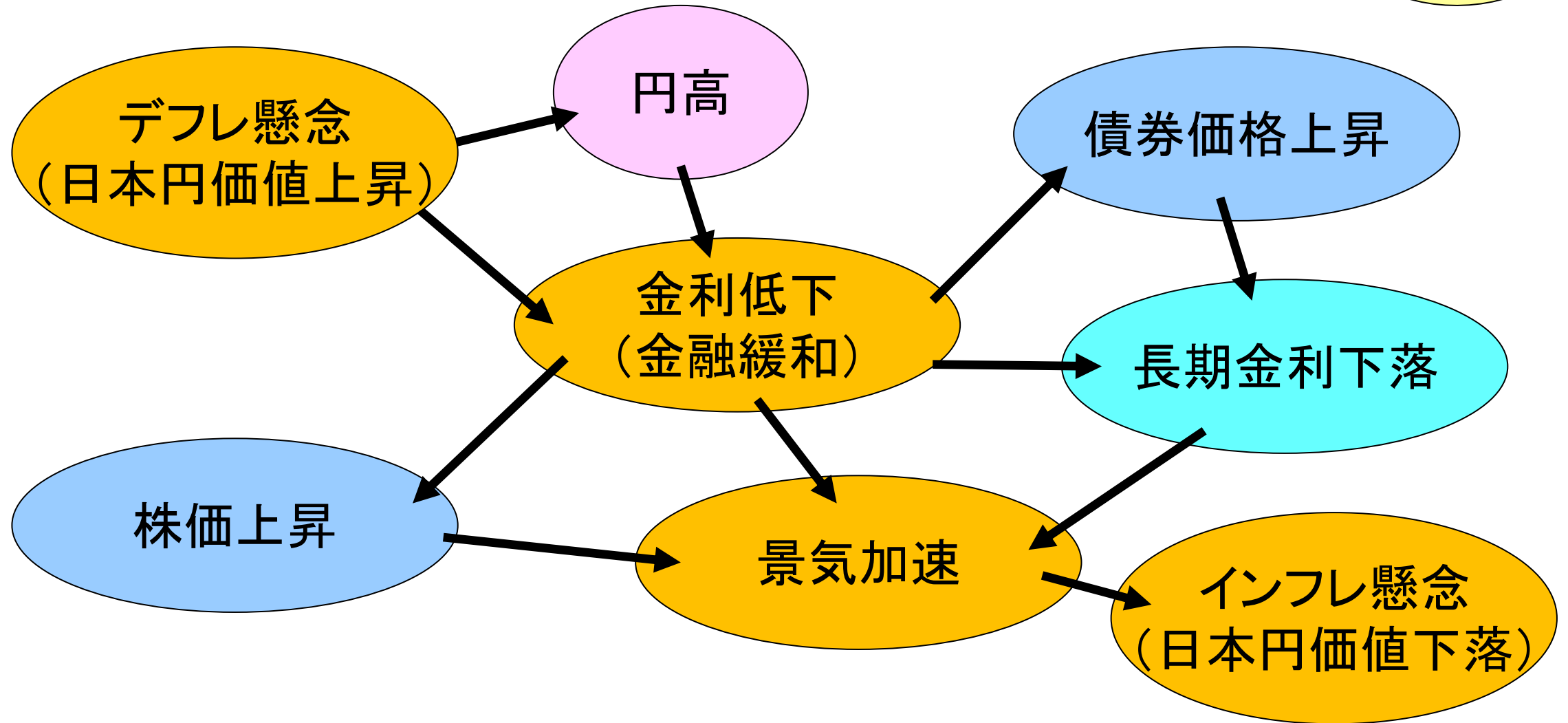
金利が経済に与える影響（インフレ時）

今からの
日本はこ
ちら



金利が経済に与える影響（デフレ時）

今までの
日本はこ
ちら



(通称)異次元の金融緩和政策(2010年代)

